

第7回改定検討委員会（7/30） 主なご意見

主な意見	対応（案）
<p>①第6回意見への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東墨田・立花・文花地域の WS のまとめで香取神社が前面に出ていることに違和感がある ○防災まちづくりと下町らしさの相反する部分をどう整理するのか ○空き家・空き地について <ul style="list-style-type: none"> ・都営団地への意見は、区として言うべきことは伝え方がよい ・小規模な非木造ビルの老朽化問題は今後 10 年で大きな問題となるのではないかと。もっと危機感を持って対応すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップでのご意見は、コラム（地域のまちづくり実現に向けた協治のポイント）として紹介する内容と、地域の取組みとして取り扱う内容とを整理した ○防災まちづくりを優先することとなるが、下町らしさを残す取組みについては推進方針（P.207）にて記述した ○空き家・空き地について <ul style="list-style-type: none"> ・都営白鬚東アパートに関しては建物の適切な維持管理、防災拠点としての機能向上について伝えていく ・墨田区空家等対策計画の基本的な考え方に則して、予防・利活用等の視点に関する内容を記述した（P.204）
<p>②将来都市構造の表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○拠点・軸の表現が 10 年前と変わらないことに違和感がある。「集積」ではなく「混在したまち」という将来の方向性があるのではないかと ○都市計画用語としての従来の表現を用いなければならない部分はあるが、文章上の工夫はあるのではないかと。表現方法を工夫して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来都市構造図（拠点と軸）では表現しきれない面的な広がりについて、まちの成り立ちなどから4つのエリアを設定し、まちづくりの方向性を示した（P.36～48）
<p>③地域及び地区区分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○京成線の高架化により小学校区が変わった。地域別構想の中の区域設定に違和感がある ○学校区は新規住民にとってわかりやすい ○拠点、地区、エリアなど様々な位置づけと方針が示されており分かりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政計画において様々な地区区分の考え方があがるが、現行都市マスの継続性を考慮し6つの地域別構想の設定は変更しない ○地域別構想の中でさらに区域設定をして方針を掲げていたが、煩雑になることから中止した ○エリア、拠点、区分の考え方は次のとおり <ul style="list-style-type: none"> ①まちの成り立ちを踏まえたまちづくりの方向性・・・4 エリア （P.37） ②将来都市構造図の拠点・軸 （P.38） ③地域別構想・・・6 地域 （P.114） ※①は②を面的に補完するもの

<p>④ガバナンスの表現について</p> <p>○推進方針はガバナンスを大切にしていることを明確に示して欲しい</p> <p>○ガバナンスを重視する背景や目的は、都市マス改定の前提条件として示した方がよい</p> <p>○ガバナンスの説明にはこれまでの実績など積み上げたものの上にあることを示すべき</p> <p>○ガバナンスとは何か、具体的に示すことが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動実績の紹介 ・多様な担い手の具体例の紹介 ・指針の主体の明確化 <p>※これまでの活動や指針を示す際は、担い手／コミュニティ／組織単位／活用ツール を示す</p>	<p>○「Ⅰ はじめに」の「位置づけと改定の視点」にガバナンスを基本理念とすることを示し、「Ⅵ 推進方針」においてまちづくりの実現に向けた考え方を展開した（P.6、206）</p> <p>○地域別構想でこれまでの実績等を具体的に例示した（P.118、129、140、151、162、172）</p> <p>○「Ⅵ 推進方針」において担い手のイメージやまちづくりの手法などを記述した（P.208～215）</p> <p style="text-align: center;">※補足として追加資料1を参照</p>
<p>⑤その他</p> <p>○住民基本台帳と実態（国勢調査）の乖離を確認して欲しい</p> <p>○P.172「主体的に関わりたくなる」は「主体的に関わる」とした方がよい</p> <p>○進行管理の視点から、モニタリング制度や活動の評価などを柔らかな場で話し合う機会をもけることなども検討して欲しい</p>	<p>○追加資料2を参照</p> <p>○まちづくりの担い手の裾野を広げる趣旨で「主体的に関わりたくなる」という表現を用いているため変更しない（P.207）</p> <p>○「Ⅵ 推進方針 3計画の進行管理」において、評価や見直しの体制・仕組みについて記述した（P.221）</p>